

## 一、瘀血とは

全身、或いは局部の血行障害、又は内出血後、血が体内にたまる状態を血瘀と称し、血瘀によって引き起こされるいろいろな病証は瘀血証である。

その成因は気虚、気滞、血熱、血寒、外傷などがある。

瘀血の基本病態は血液循環障害、特に微小循環障害である。

## 現代医学的な考え方

- 血液循環障害、特に微小循環障害をいう。
- 瘀血証の基本病態
  - 組織の萎縮や増殖、例えば強皮証や潰瘍などに相当する。
  - 循環障害による栄養障害で、皮膚や髪の毛に艶がなくなるなどの症状が現れる。
  - 興奮性の精神神経症状が現れる。
  - 免疫、内分泌、代謝などの異常が現れる。
  - 全身や局所性の炎症を引き起こす。

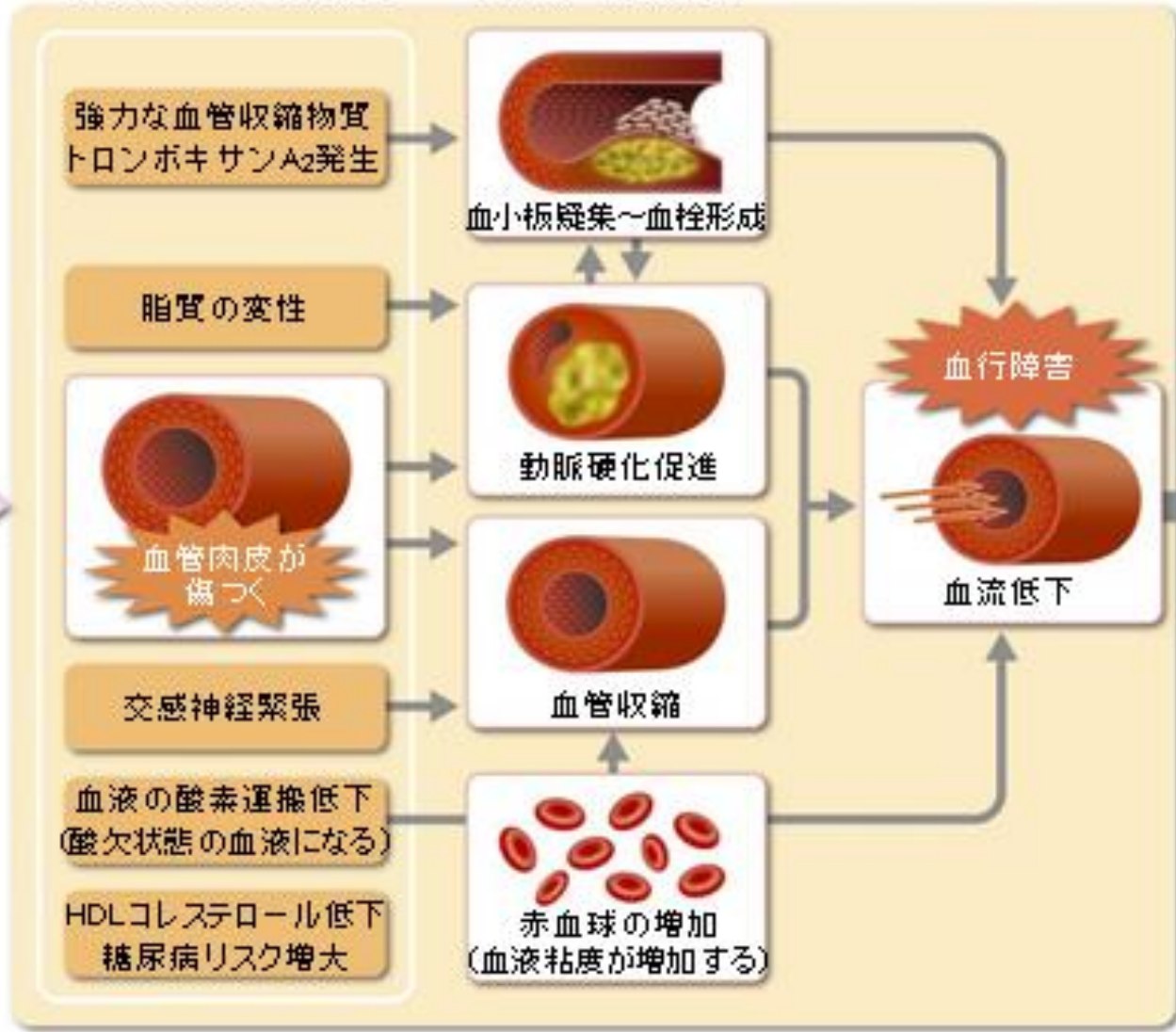
# 瘀血（血行障害）の例

タバコ煙に含まれる物質

- ① ニコチン
- ② 活性酸素フリーラジカル
- ③ 一酸化炭素
- ④ タールその他

体内における影響

血管への影響

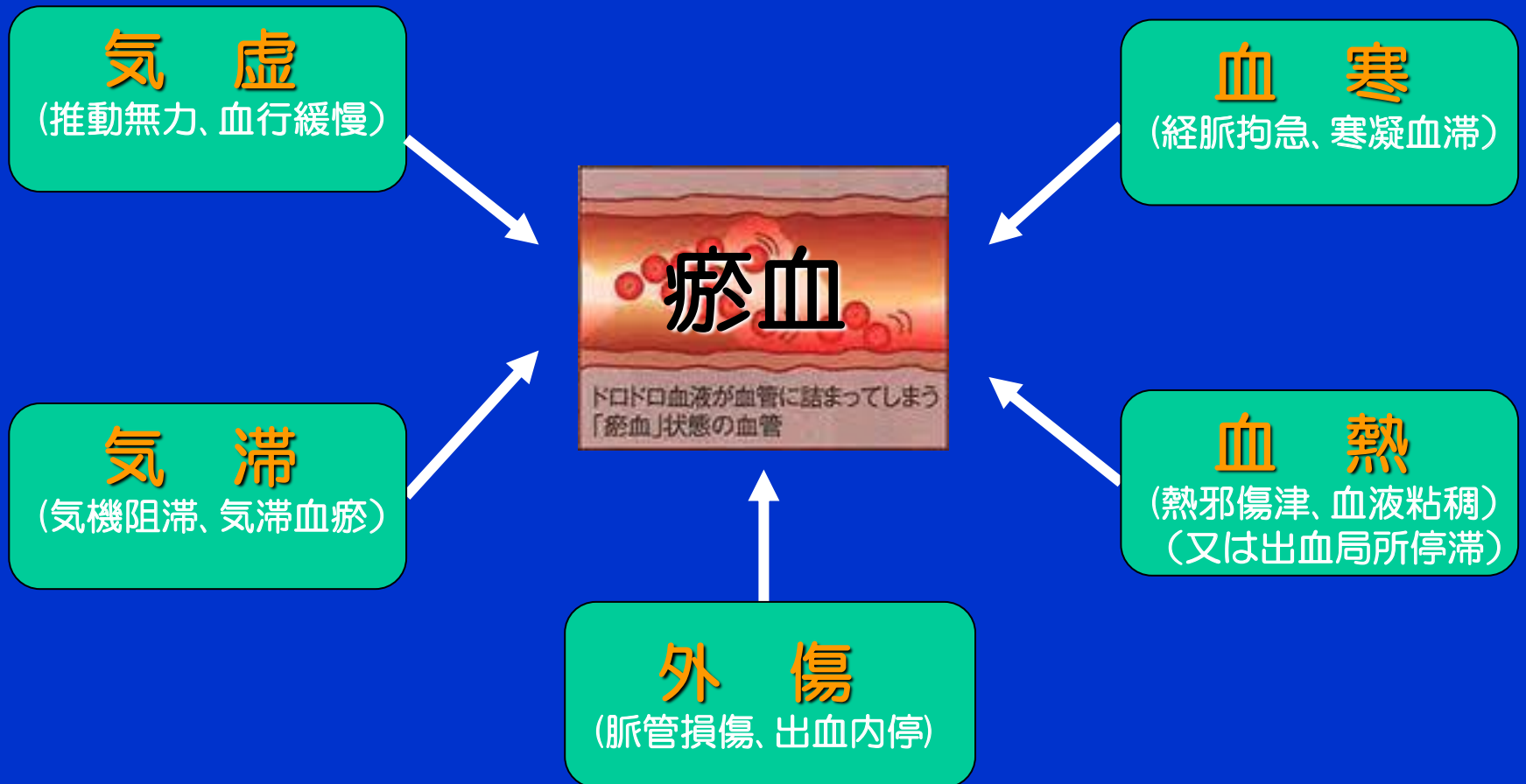


## 二、瘀血の病因病機

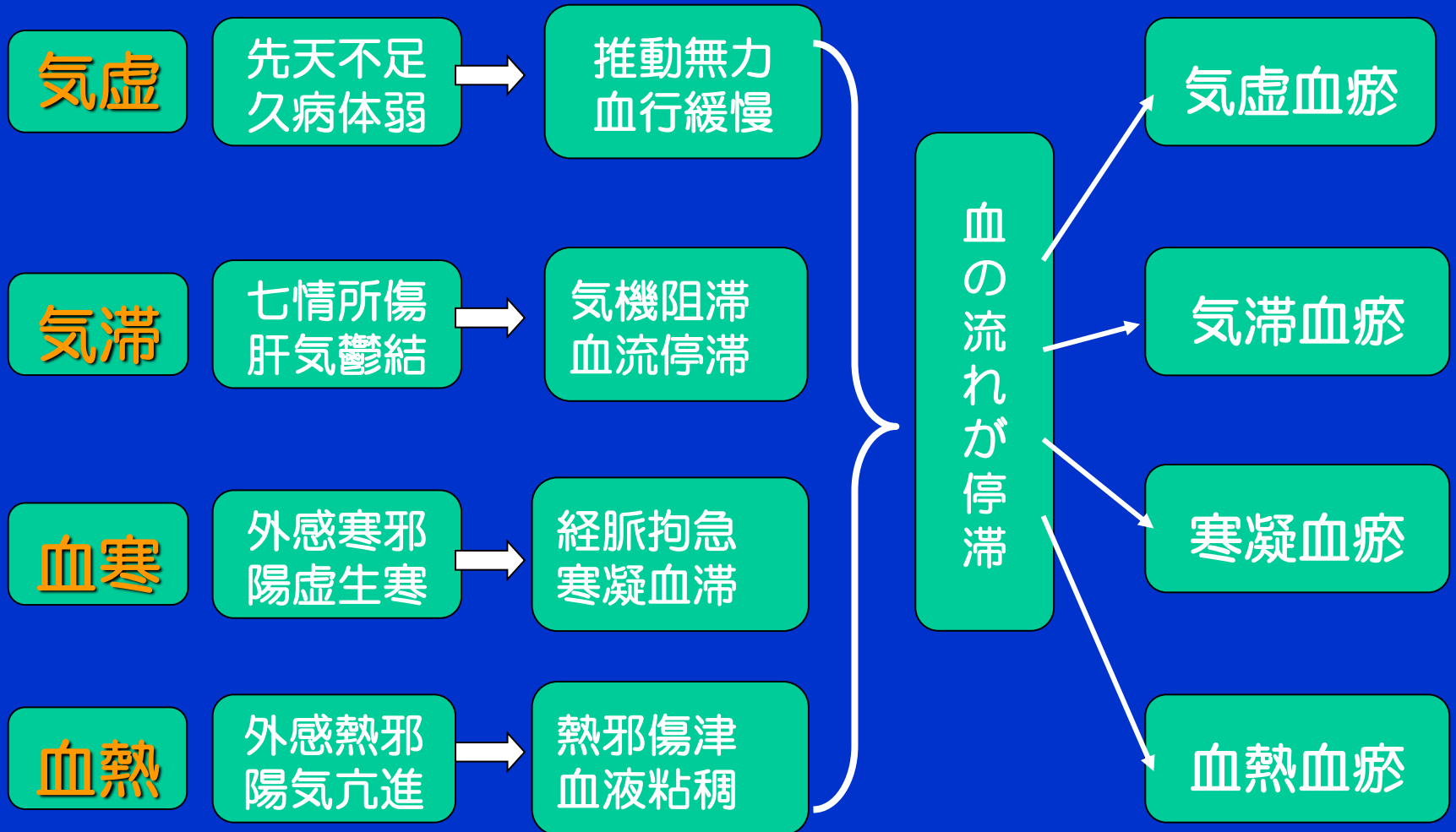
- 血液がスムーズに運行するには、下記の条件に満たさなければなりません
- ①気の推动作用が正常
- ②気の固摂作用が正常
- ③血液が充満し、成分が正常、温度が適切
- ④脈管が無傷で、通暢である。

上記の条件が異常（気虚、気滞、血虚、血寒、血熱、外傷など）になると、血瘀が発生する。

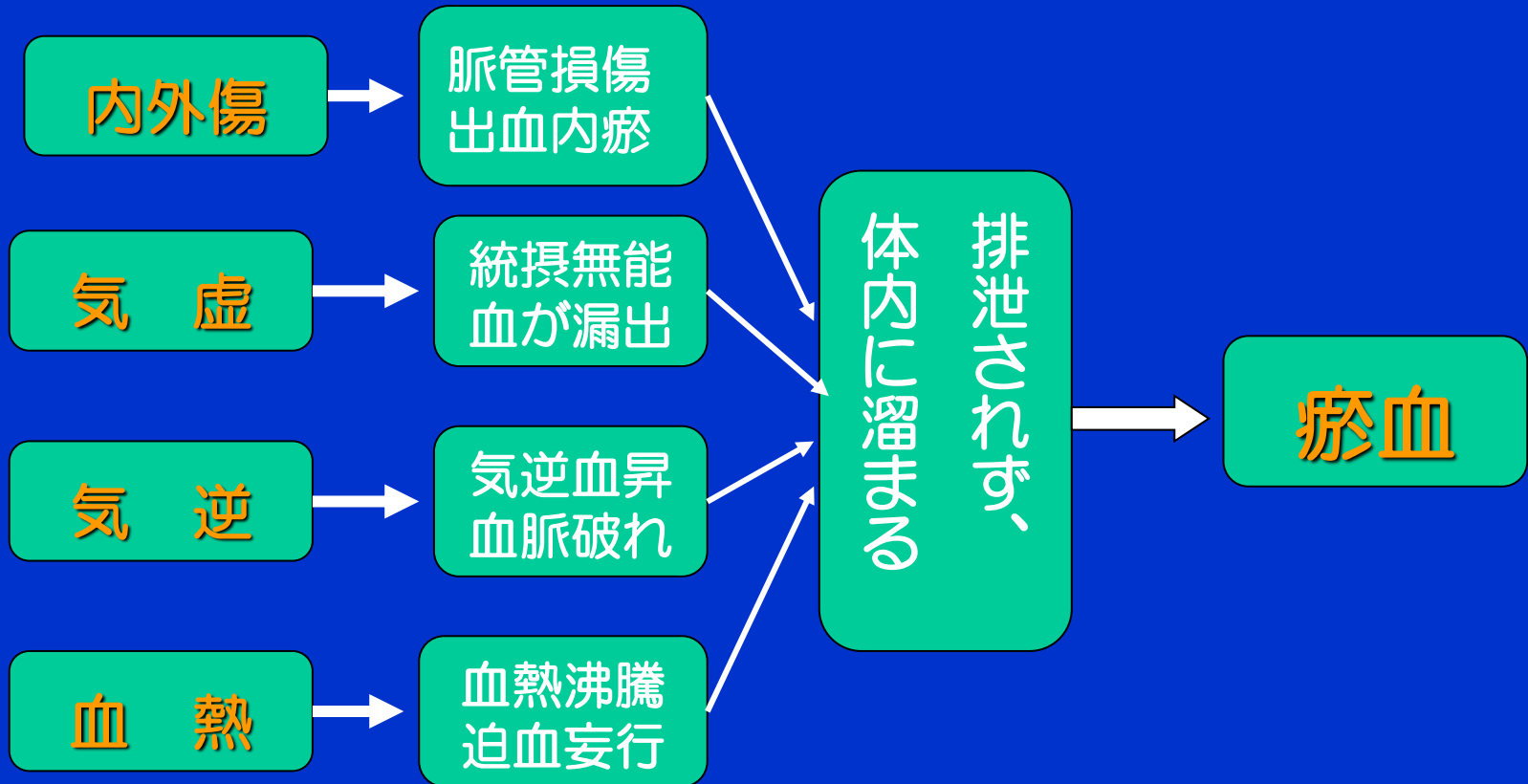
# 瘀血の病因病機



# (一) 血流停滞の原因



## (二) 脈管から漏れる原因





### 三、瘀血の症候特徴

- 疼 痛**：持続性で、刺すような痛み、部位は固定性であり、圧痛（拒按）が顕著で、夜に痛みが酷くなるなど特徴である。
- 腫 塊**：腫塊皮膚色は青紫で、移動せず、硬くて押えようと痛みを感じる（肝腫大や腫瘍など）。
- 暗紫色**：皮膚・粘膜・舌の色調の変化で、暗紫色になり瘀点や瘀斑が生じる（チアノーゼ）。
- 失 栄**：顔色が浅黒く、肌膚甲錯（乾燥して荒く色艶が悪い、毛髪も枯燥する）。
- 難病・精神病**：癲狂・健忘や麻痺・意識障害などの精神神経症状を伴うことがある。
- 舌脈象**：舌に瘀斑、瘀点、舌下静脈が怒張など。脈は細澁あるいは結代である。

# 部位から見た瘀血の症状

瘀血部位	臨床所見
心	心痛、動悸、唇チアノーゼ、狂躁
肺	胸痛、喀血
脾・胃	腹痛、吐血、下血、タール状便
肝	脇肋部の刺痛、痞塊（肝硬変、肝腫瘍）
腎・膀胱	下腹痛、尿痛、血尿、尿閉
胞宮（子宮）	生理痛、生理不順、小腹痛、崩漏、経血の色が黒く塊がある
肢体・肌膚	局所の腫れ、痛み、皮下血腫（痣）、半身不随、筋肉の萎縮など

## 四、瘀血の弁証論治

### 1、気虚血瘀

【症状】 疲労倦怠、声低懶言、自汗脱力感、疼痛拒按、半身不随、舌淡紫暗或は瘀斑、脈弱、洪、代

【治法】 補気活血通絡

【方薬】 補陽還五湯（黄耆、地竜、赤芍、当帰、川芎、桃仁、紅花）

### 2、陽虚血瘀

【症状】 元気がない、腰や膝がだるく無力、肢体冷痛、手足冷え、寒がり、女性生理不順、下腹部冷痛、舌淡胖大、齒痕、脈弱遅洪

【治法】 温補腎陽、活血養血

【方薬】 八味地黄丸十桃紅四物湯

### 3、氣滯血瘀

【症状】慢性頭痛、胸脇部、腕腹部の脹痛、刺痛、動悸、イライラ、ため息の後痛みが軽くなり、舌質が暗い或は瘀斑瘀点、脈は澁・弦

【治法】活血化瘀、行氣止痛

【方薬】血府逐瘀湯、丹参飲、芎帰調血飲

### 4、血虚血瘀

【症状】眩暈心悸、不眠、疼痛拒按、痛みの部位は固定的、女性生理痛、舌淡、暗い或は瘀斑、脈細澁

【治法】補血活血祛瘀

【方薬】桃紅四物湯

## 5、血熱搏結

【症状】 発熱夜甚、意識障害、皮膚が発赤、皮下出血、吐血、血便、血尿、疼痛が刺痛、灼痛、冷やすと軽減する、舌紅絳暗、脈数、洪

【治法】 清熱涼血化瘀

【方薬】 犀角地黄湯、桃仁承気湯  
温清飲

## 6、寒客血脈

【症状】 肢体疼痛、暖めると軽減、手足が冷たく紫暗色になる或いは少腹部冷痛、月経後期、経血は紫暗色で血塊を伴う、舌淡紫暗、苔白、脈沈遅澁。

【治法】 温経散寒、養血祛瘀

【方薬】 当帰四逆湯

## 7、外傷瘀血

【症状】 交通事故、打撲傷、捻挫、手術、抜歯などによる局所の腫れ、紫色、刺痛

【治法】 活血祛瘀止痛

【方薬】 復元活血湯（柴胡、花粉、当帰、紅花、甘草、大黃、桃仁、穿山甲）、  
失笑散（五靈脂、蒲黄）  
七厘散（血蝎、麝香、竜腦、乳香、没薬、紅花、朱砂、児茶）  
治打撲一方（仙骨、樸椒、川芎、桂枝、大黃、丁香、甘草）

# 活血祛瘀剤に効く疾病（1）

1. 脳血管障害（脳出血・脳梗塞・脳動脈硬化）
2. 虚血性心臓病・鬱血性心不全・バージャー病
3. 凍瘡・血栓性静脈炎・痔疾・食道静脈瘤
4. 慢性肝炎・肝硬変・胃潰瘍・慢性胃炎
5. 気管支喘息・気管支拡張症・汎細気管支炎  
肺線維症・肺結核・糖尿病性網膜症
6. 潰瘍性大腸炎・クローン病・ベーチェット病
7. 強皮症・SLE・シェーグレン・リウマチ・  
ITPなど膠原病、自己免疫性疾患

## 活血化瘀剤に効く疾病 (2)

8. 外傷打撲・捻挫・鞭打ち・腱鞘炎・弾撥指
9. 多くの増殖性病変(癌・腫瘍・肥大・ケロイド)
10. 術後癒着、瘢痕、狭窄・術後リンパ浮腫
11. 婦人科疾患・月経異常・不妊・無月経・子宮筋腫・子宮内膜症・更年期障害・産後の疾患・頭痛症
12. 眼疾・耳疾・歯科・三叉神経痛・皮膚潰瘍・褥瘡
13. 乾癬・秕糠疹・角化・苔癬・鶏眼・水虫・アトピー
14. 統合失調症の幻覚(幻視、幻聴)
15. 拡張期高血圧症



## 五、活血化癥方藥

### (一) 活血化癥藥の使い分け

#### 1. 温性活血化癥藥

当歸・川芎・延胡索・降香・姜黄・莪朮・沢蘭・鷄血藤・紅花・五靈脂・乳香・田七・月季花

#### 2. 平性活血化癥藥

三稜・蘇木・牛膝・王不留行・糸瓜絡・桃仁・水蛭・没藥

#### 3. 涼性活血化癥藥

鬱金・毛冬青・益母草・馬鞭草・劉寄奴・丹参・赤芍・牡丹皮・穿山甲・しゃ虫・虻虫・川骨・大黄

## (二) 常用活血化瘀工キヌ劑

桂枝茯苓丸（活血化瘀、緩消癥塊）

桃核承氣湯（破血下瘀）

疎經活血湯（祛風湿、補血活血）

温經湯（温經散寒、養血逐瘀）

通導散（活血化瘀、行氣通絡）

大黃牡丹皮湯（活血消癰）

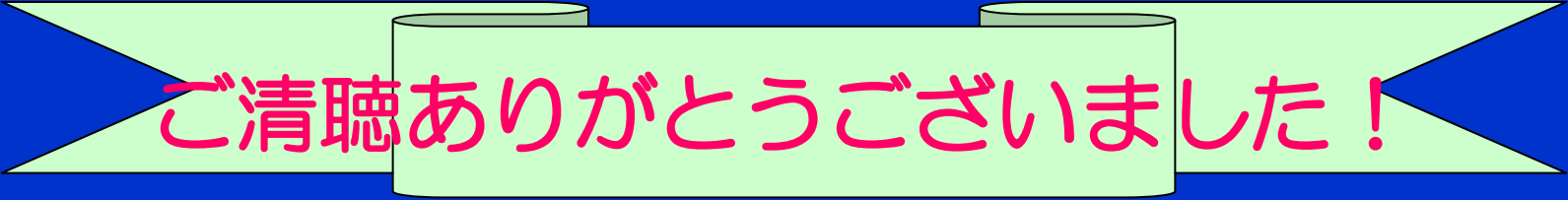
治打撲一方（化血化瘀通陽）

### その他

抵当湯、下瘀血湯、通竅活血湯、膈下逐瘀湯、身痛逐瘀湯、生化湯、大黃牡丹皮湯など。

### (三) 活血化瘀劑の構成

桃核承氣湯	大黄・芒硝・桃仁・甘草・桂枝
大黄牡丹皮湯	大黄・芒硝・冬瓜子・桃仁・牡丹皮
治打撲一方	大黄・川骨・樸檉・甘草・川芎・丁香・桂枝
通導散	大黄・芒硝・当帰・枳実・厚朴・陳皮・木通・紅花・蘇木・甘草（桃仁・牡丹皮）
腸癰湯	薏苡仁・冬瓜子・桃仁・牡丹皮
桂枝茯苓丸	桂枝・茯苓・芍薬・桃仁・牡丹皮



ご清聴ありがとうございました！